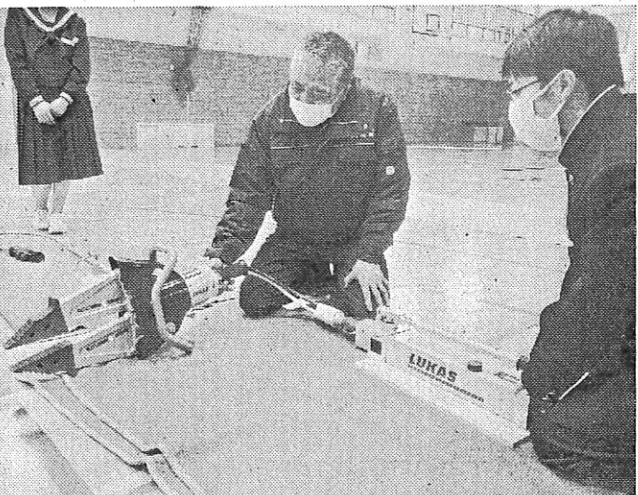


自衛隊の仕事内容学ぶ

救助器具の操作も

御所・葛上中
体験 学習



元自衛隊員から油圧救助器具の操作方法を教わる生徒（右）＝9日、御所市佐田の葛上中学校

木などを切断する油圧救助器具の操作や、装着したゴーグルで戦闘機パイロットの視界を仮想体験。女性隊員の活躍の場が広がっている現状などを説明した。

同中学校1年の前田隆樹さん（13）は「自衛隊内でもさまざまな職種があることを知った。災害時は時間をかけて救助してくれるありがたい存在」と感想を述べた。

御所市佐田の葛上中学校（東元信浩校長）で9日、自衛隊員らが命を守る仕事の体験学習を行った。同校のキャリア教育の一環で、1、2年生35人が自衛隊の組織や仕事内容などについて学んだ。

自衛隊奈良地方協力本部の山口徳大五條地域事務所長（48）は、主な任務の一つに災害派遣を挙げ、公共性、緊急性、非代替性を基準に国の要請で派遣されることを紹介。災害現場での復旧作業や給水、入浴とい

った生活基盤の支援体験などを伝え、「国民の役に立っていることを実感できる」と話した。

また、生徒は災害時に倒